

海上コンテナの鉄道モーダルシフト及びトレーラー中継輸送

協議会名:大館市鉄道モーダルシフト実証コンソーシアム

協議会構成員

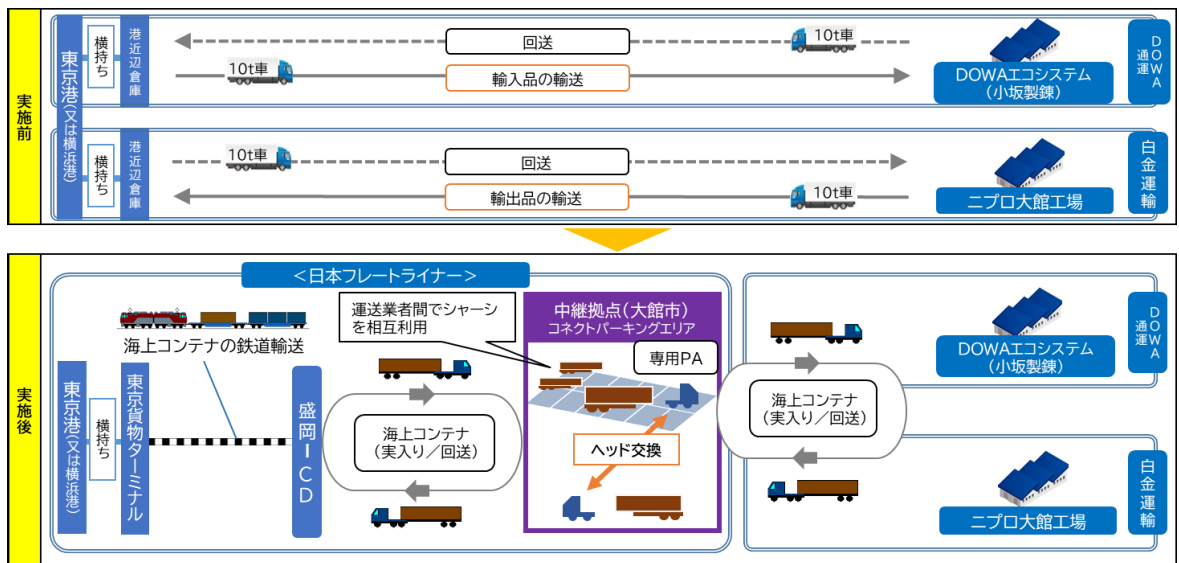
大館市、日本貨物鉄道株式会社東北支社、ニプロ株式会社、DOWAエコシステム株式会社

【事業実施背景】
輸出入産業が集積する秋田県北部では、京浜港との貨物輸送において、ドライバー不足・環境負荷増大といった課題を抱えていた。貨物駅のある大館市を中心に内陸部での海上コンテナ物流の新たな輸送方式を模索しており、本事業で実運用の検証を行う。

事業内容

Point


- 1. 東京－盛岡（海上コンテナ輸送可能区間）
 - └ 鉄道モーダルシフト
- 2. 盛岡－大館（海上コンテナ輸送可能区間外）
 - └ ヘッド交換式のトレーラー中継輸送



想定事業実施効果

【ドライバー運転時間省力化】
17,384時間 → 880時間
77.9%削減

【環境負荷削減への対応】
CO₂ 68.3%

【事業展開】
実運用の効果が実証された場合、将来的に中継拠点を大館貨物駅と機能連結させ、海上コンテナを取り扱うインランドデポ※へ拡張する。圏域全体の物流効率化を推し進める。

※コンテナの積み込み積卸しや通関手続きなど、通常は港で行う作業を内陸で行う物流施設。内陸貿易港などとも呼ばれる。